



グループホーム敬愛の森

☎042-306-3196

入居者が毎日イキイキと笑顔で暮らせる
ホームを目ざします。

定員：2ユニット（1ユニット9名×2）18名。
各ユニットには9つの居室、リビング、キッチン、
浴室、トイレがあります。



リビング

ここで食事をしたり、
レクリエーションをしたり、
テレビを観たりして過ごします。



居室

居室は完全個室で、
ベッド、クローゼット、
チェスト、洗面台がついています。



キッチン

テーブル拭きや食事の盛りつけ、後片付けは
入居者と職員が一緒になって行います。
男性もがんばっています。



イベント

歌を唄ったり、体を動かしたり、と
様々な催しに参加しています。

イベント参加

敬愛の森で行われている
コンサートやお茶会など
積極的に参加しています。

パワーリハビリ

1階のデイルームで
パワーリハビリに参加
する入居者もいます。

散歩

できるだけ散歩に行くようにしています。
住民の方ともあいさつを交わすこともあり、
地域の一員であることが実感できます。

● グループホームとは

介護が必要な認知症の方が、5～9名の少人数の家庭的な雰囲気のもとで、
入浴や排泄、食事の介護や日常生活上の世話や機能訓練など、
専門の介護スタッフの援助を受けながら、
できるだけ自分でやれることをやりながら暮らすホームです。

利用 方法

利用できる方 = 要支援2か要介護1～5の認知症の診断を受けている東村山市在住の方。
費用 = 介護保険の1割～3割負担（介護度によって異なる）
のほかに家賃や光熱水費、食費などが掛かります。
相談先 = ケアマネジャー、グループホーム責任者。



自立生活を応援する森のグループホーム

～認知症の方であっても生活力の改善を目標に介護・支援します～

認知症というと、もう何もできない人と思われ、困った行動ばかりに目がいきがちですが、適切なケアがあれば、ご自身でできることはたくさんあります。グループホーム敬愛の森では、ご自身の力を発揮できるさまざまな機会をつくり、認知症の進行を予防し、その人の尊厳を大切にした支援をします。

近年、認知症に関する研究が進み、認知症の原因がわかってきました。入居者お一人ひとりについて、よって来る原因を究明・分析し、個別の介護・支援計画を作成します。入居者が明るく元気に生活できることを目標に、計画を実行することが介護者の務めと考えています。

筋力低下は行動範囲を狭め、人を消極的にし、自信を喪失させます。体力の維持・改善のために、身体的リハビリは重要です。また、ストレスは認知症を進行させます。ストレス排除のための精神的リハビリにも取り組んでいます。



看取りを行うグループホームはまだ少数ですが、グループホーム敬愛の森は、終の棲家として暮らしていただけるよう、介護と医療の連携体制を整えて対応します。



敬愛の森には、リハビリ設備、食堂、診療所が揃っています。介護士をはじめ、看護師、栄養士、機能訓練士、医師、調理師などが、それぞれ情報を共有しチームで介護に取り組みます。

地域の一員であることが実感できることは重要です。ホーム内で生活を完結させず、交流スペースの行事への参加や散歩により、人々との触れ合いの機会をつくります。



*2ユニット18名(1ユニット9名)

*要支援2、要介護1~5の認知症と診断された方を対象とします。

*ご利用者の自立支援を前提とし、日常生活はもちろん、レクリエーション、機能訓練、余暇活動等の支援をいたします。

*笑顔あふれる家庭的な雰囲気を実現いたします。

担当：川越(かわこし)

専用Tel : 042-306-3196